

考えてみよう②

「いやなこと」はみんな同じ？

(1) インターネット上であなたが友だちからされたら一番いやなことに×を、一番気にならないことに△をしましょう。

- () 仲良しグループで自分の入っていないグループが新しくできていた
- () 自分が写った写真を勝手に公開された
- () 既読スルーが続いた
- () 長時間のトーク、グループトークに付き合わされた
- () SNSで悪口を言われた

(2) 友だちはどれを選んだか、3～4人のグループで話し合ってみましょう。

- ・ 何を選んだか。
- ・ なぜそれを選んだか。

(3) 気づいたことを書きましょう。



人によって、嫌だと感じること、ここまでなら許せると感じる範囲は違います。自分は大丈夫と思っていることが、相手を深く傷つけてしまうこともあります。

普段から、相手を思いやる気持ちを大切にすることを、心がけましょう。

インターネットの良さを生かして使うために大切なことや、インターネット上でのやりとりで自分が傷ついたり、他の人を傷つけたりしないために大切なことを家族や友だちと話し合ってみましょう。

例) プライバシーに関することは書き込まない、やりとりをして不安になったときや、迷ったときはすぐにはっきり断る、しつこく誘われたりおどされたりしても決して応じないなど。

ほかにも、次のようなことに気をつけましょう

- SNSやオンラインゲーム等インターネット上で知り合った人を簡単に信用しない。
(名前、年齢や性別など本当のことを言っているとは限らない。)
- 絶対に実際に会わない。
- 自分や他人の写真・個人情報を安易に送らない。
- 困ったときはすぐに家族や先生、信頼できる大人に相談する。
- 周囲に相談できる人がいないときは、警察や専門の窓口相談する。



昨年、ダイレクトメールで知り合った人に子どもが誘拐されるという事件が起きました。
残念なことです、思春期の心理状態や葛藤を利用して近づいてくる危険な大人は少なからずいます。あなたたちが投稿した悩みや不満に対して、親身に相談にのるふりをして会う約束をしようとしたり、個人情報を聞き出そうとしたりする事例もあります。

「やめられなくなるまでSNSを利用しない」「ダイレクトメッセージ等で個人的なやりとりはしない」ようにしましょう。

中高生のみなさんの多くは「自分は気をつけているから大丈夫」と思っているのではないのでしょうか。しかし、現実には命の危険に関わる事件が全国で起きています。取り返しがつかないことにならないように、家族や友だちとインターネットの適切な使い方を話し合いましょう。

